



活用策が検討されている野辺沢農場

候補者の推薦をお願いしているが、どの地区においても担い手が見つからず、人選に大変苦慮していると聞いている。市では委員の活動内容の見直しと待遇改善を図ってきたが、今後も活動の見直しや役割分担の明確化を図っていきたい。

答 受診率は年々向上しているが、長野県の平均受診率を下回る状況が続いている。受診率向上のため、電話や家庭訪問で受診勧奨を行っている。

問 地域ケア推進会議の設置状況はどうか。

答 現在、広丘、吉田、大門の3地区を残し、設置が完了している。

◆民生・児童委員の選任と負担軽減について

問 改選期を迎え、区長が選任に苦勞していると聞いているが、市はどのような対応をしているか。

答 委員の選任について区長を通じ、各地域から

◆中小事業所事業承継について

問 塩尻商工会議所が開始した事業承継マッチングサービスの概要は。

答 事業の譲渡を検討している市内の事業所を対象に、譲り手と買い手を手マッチングする民間のウェブサービスを活用して、情報の掲載や、買い手との交渉を経営指導員が代行している。

◆ワイン産業の振興策は

問 ワインの販路拡大について、市の取り組みは。

答 昨年、香港で開催されたアジア最大級の酒類

専門見本市に、本年3月には国内最大級の食品・飲料展示会に出展する等、販路拡大に、ワイン組合と一緒に取り組んでいる。

◆信州F・パワープロジェクトについて

問 バイオマス発電所の稼働スケジュールは。

答 本年6月にタービン発電機棟の基礎工事が終わり、建屋等の建築工事と、プラント工事が来年5月までに完了し、5月より試運転を開始し、10月から本稼働の予定となっている。

問 発電用木材の安定供給について、市として独自の取り組みは考えているのか。

答 間伐材や林地残材、枝条等の有効活用のため燃料材供給モデルの構築を進めている。

問 市有地である野辺沢農場を、原木の中間土場として活用してはどうか。

答 一時的に木材をスト

ックできる土場の確保は、重要と考えているが、野辺沢農場への市道の幅員が狭いこと、悪臭等の環境問題など、活用には課題があるが、地域の実情や必要性等を踏まえ、検討していきたい。

◆市営住宅について

問 老朽化した住宅は今後どのようにするのか。

答 市営住宅の半数以上が新耐震基準前の建物であり、老朽化が進んでいることから、耐震性のない住棟や土砂災害特別区域にある住棟を優先に用途廃止を進めるとも



老朽化が進む市営住宅

に、耐震性のある建物については、存続させるため、計画的に改修工事を行っていく。

日本共産党
質問者
小澤 彰一
柴田 博
持ち時間 90分

**小規模を
活かせ!**

◆小規模農業を守る

答 地産地消を維持し、小規模農家の収入を安定して維持するため、市は方策を考えていないか。

問 農産物流通ネットワークへの小規模農家の参加については、流通コーディネーターが一定の役割を果たしている。この度、生産者・物流業者などで構成する松本地域地産地消研究協議会が発足し、9月〜12月に農産物配送の実証実験が行われる。早く安く、無駄の少ないこの流通システムに期待し、支援していく。